

北斎漫画・幕末復刻版寄贈される



寄贈を受けた北斎漫画を手にとって見る小林市長



寄贈者の東京都中野区在住、前田ひさ子さん写真：右（手前が寄贈された版画本）

八朔祭で巡行される屋台の飾り幕「虎」の下絵を描いたのは葛飾北斎であることは、皆さんご存じのことと思いますが、その北斎が描いた漫画復刻版が博物館にあったとしたら、ちよつと見たりませんか？

七月二十二日「漫画・幕末復刻版画本十四冊揃え」がミュージアム都留に寄贈されました。

寄贈いただいたのは、東京都中野区にお住まいの前田ひさ子さんです。

前田さんは牧丘町出身で、祖父が明治時代に集めたものを大事に保管し、いつかは県内のどこかに寄贈したいと考えていた矢先、縁あって北斎に深いかわりのある本市の博物館を知り、寄贈を申し出たそうです。

寄贈を受けました版画本は、北斎の貴重な資料として大切に保存しながら、一般にも公開していきたいと考えています。

7月25日（日）両国国技館で「第15回わんぱく相撲全国大会」が開催されました。

わんぱく相撲は、心身の鍛錬と健康の増進を図ることを主たる目的に、国技館の土俵で相撲を取るという夢と目標を設けることで、大勢の子ども達が努力すること、苦しさにも耐えること、勝つことの喜び、負けることの悔しさ、敗者への思いやりを学び、子ども達を取り巻く厳しい環境に打ち勝つ勇気と気概を持ち、心豊かに育つようにと願い開催されています。

都留青年会議所も4月29日に「第11回わんぱく相撲つる場所」を行い、4～6年生までの横綱を選出し山梨ブロック大会で見事3位となり全国大会の切符を手に入れました。

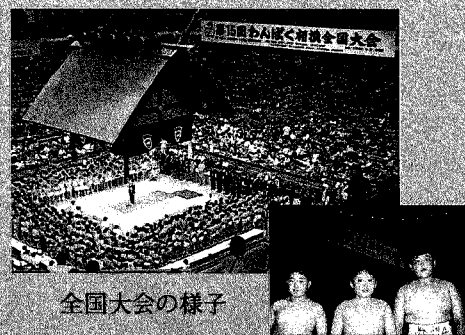
全国大会出場が決してから、谷村高校相撲場で毎週けいこを積み一つでも多く勝てるようがんばってきました。

全国大会では、惜しくも上位進出はできませんでしたが、本番前日二十山部屋（はたちやま・元大関北天佑）へ宿泊し、ちゃんこ鍋をおなかいっぱい食べたことや「わんぱくスポーツ教室」で宮本和知さん（元巨人軍投手）の楽しい講演を聞いたことなど思い出に残る大会となりました。

わんぱく相撲 全国大会で健闘

出場した選手は次のとおりです

4年生の部 鈴木 潤君（赤一小）
5年生の部 佐藤 儀明君（栗谷小）
6年生の部 木下 喜史君（谷一小）



全国大会の様子

平和を祈念し 黙とうを

原爆パネル展開催

八月六日および九日は、原爆の日です。

戦争死没者の冥福を祈り、世界の恒久平和を祈念して、次の事業を行います。

◎原爆パネル展

文化会館1階ロビー

8月6日（金）～15日（日）

午前8時30分～午後5時

◎平和祈念の黙とう

（防災無線で呼びかけます）

広島原爆の日

8月6日（金）

午前8時15分

長崎原爆の日

8月9日（月）

午前11時2分

終戦の日

8月15日（日） 正午